

二重目的語動詞 *supply* 点描

松 元 浩 一

Notes on the Double Object Verb *Supply*

Koh-ichi MATSUMOTO

現代英語の二重目的語構文は、通例、*to*-前置詞構文や *for*-前置詞構文と交替する。例えば、*give* が現れる二重目的語構文 (1a) は *to*-前置詞構文 (1b) と、*buy* が現れる二重目的語構文 (2a) は *for*-前置詞構文 (2b) と交替する。

- (1) a. I *gave* him a book.
b. I *gave* a book *to* each of the boys. (ISED [1984])
- (2) a. He *bought* me a new coat.
b. He *bought* a new coat *for* me. (OALD⁶ [2000])

また、(3a) に示すように、主として今日の米語では、動詞 *supply* が二重目的語構文に現れる。¹⁾ この二重目的語構文は、*to*-前置詞構文 (3b) や *for*-前置詞構文 (3c) のほかに、*with*-前置詞構文 (3d) とともに交替する。

- (3) a. A youngster in school *supplied* me the answer. (Webster³ [1966, 1976])
b. Authorities say he *supplied* alcoholic beverages *to* teenagers.
(*Cambridge Dictionary of American English* [2000])
c. She *supplied* excuses *for* him. (RHD [1993])
d. This book will *supply* you *with* the answer to the problem. (RHD [1993])

松元 (2004) は、初期近代英語 (1500-1700) の100作品に関して、*supply* を初めとする *with*-前置詞構文と交替可能な二重目的語動詞 (以下、「*provide* 類二重目的語動詞」) の調査と考察を行っている。それによると、*supply* は、まずME期 (c1470年) に *with*-前置詞構文 (4) に現れ、初期近代英語期 (1679-88年) になって *to*-前置詞構文 (5) にも見られるようになるが、二重目的語構文、*for*-前置詞構文には見られない。OEDを初め、Jespersen (1927)、Poutsma (1926-28)、Curme (1931)、Visser (1963-73) も初期近代英語の *supply* が現れる二重目的語構文は示していない。

- (4) Agayne Wallace he prewit in money press, *With* Inglismen *suppleit* thaim at his mycht.
(OED s. v. *supply*, v¹. 2 [c1470])

- (5) To Margt Royston ... in satisfacc'on of so much money due to her for stationery wares *supplied* by her husband *to* the Earle of Middleton, ... 133 11 0.
(OED2 s.v. *stationery*, n. 2, *Moneys Secr. Serv. Chas. II 4 Fas. II* (Camden) 153 [1679-88])

このことから、*supply* は、初期近代英語期以後に二重目的語構文に生起するようになったのではないかと思われる。

小論では、*supply* がいつ頃二重目的語構文に現れるようになったかを可能な限り特定し、*with*-前置詞構文から二重目的語構文へと用法が拡張したプロセスを考察する。調査した1次資料は近代英語 (1500-1900) の170作品である。内訳は、初期近代英語 (1500-1700) が100作品、後期近代英語 (1700-1900) が英米の70作品である。初期近代英語からの言語事実は100作品を精読することで収集したが、後期近代英語は、Rutgers大学のEighteenth-Century E-Texts、およびVirginia大学のElectronic Text Center Collectionsに拠って収集した。²⁾

I

本調査によると、近代英語期 (1500-1900) には、以下の (6) - (10) に挙げるような例が見られた。(6) は *with*-前置詞構文、(7) - (8) は、それぞれ、*for*-前置詞構文と *to*-前置詞構文であり、本調査で見られた最も早い例である。二重目的語構文は近代英語の170作品には見られない。しかし、OED2 (CD-Rom) には後期近代英語の例 (9) および (10) が見られる。ただし、この2例しか観察されない。

- (6) He hath no provisions for his army but from Savoy;Provence and Dauphine being unable to supply him *with* necessaries. (Addison & Steele, *The Tatler Volume II*, p.48 [1709-11])
(7) And because the world does not *supply* instances of this kind ... *for* such a humanity and benevolence of temper, (Addison and Steele, *The Tatler Volume III*, p. 17 [1711])
(8) a very small portion of them does *supply* any real benefit *to* mankind. (Berkeley, 'Introduction' 17th par. [1710])
(9) They will, from using as many again as is necessary, be soon short of that article, which probably cannot *be supplied* them. (OED2 s.v. *short*, a. 18e, NELSON 8 July in *Nicolas Disp.* 1.425 [1794])
(10) Our commissary department was poorly *supplied* .. four small *oyster* crackers. (OED s. v. *oyster*, n. 7a, *Kansas Mag.* III. 273/2. [1873])

(6) - (10) に示したような *supply* が生起する各構文の出現数と出現時期をまとめると、それぞれ、表 I および表 II のようになる。表 I は、*supply* が現れる出現数を、初期近代英語期と後期近代英語期に分けて、各構文ごとに示している。かっこ内の数はOED2に基づく出現数である。表 II は、*supply* の出現時期を各構文ごとに表している。両表中のWITHは*with*-前置詞構文、TOは *to*-前置詞構文、FORは *for*-前置詞構文、DOCは二重目的語構文を表す。

〈表 I〉近代英語(1500-1900)における *supply* の出現数

	WITH	TO	FOR	DOC
初期 (1500-1700)	12	0	0	0
後期 (1700-1900)	178	21	11	(2)
Total	190	21	11	(2)

〈表 II〉 *supply* の出現時期

	Pre-1500	1500	1600	1700	1800	1900
supply						
WITH (c1470)	—————>					
				TO (1679-88)	—————>	
				FOR (1711)	—————>	
					DOC (1794)	—————>

出現数を示した表 I を見ると、近代英語 (1500-1900) では、*supply* は *with*-前置詞構文に圧倒的に多く現れていることから、*with*-前置詞構文が *supply* の基本形であることがわかる。*to*-前置詞構文、*for*-前置詞構文、二重目的語構文は、出現数から見ると、この順で優勢である。出現時期を示した表 II を見ても *supply* は最初に *with*-前置詞構文に起こり (c1470年)、*to*-前置詞構文 (1679-88年)、*for*-前置詞構文 (1711年)、二重目的語構文 (1794年) の順に現れ、出現数の順と同じである。二重目的語構文は、最終的に *with*-前置詞構文の約300年後に生起していることから、*supply* は後期近代英語の終わり頃 (18世紀) に *with*-前置詞構文から二重目的語構文へ発達したと考えられる。次節では、この発達過程を考察するために、まず、初期近代英語に見られる他の *provide* 類二重目的語動詞の出現時期を見てみよう。

II

初期近代英語 (1500-1700) には、*supply* を除く11種の *provide* 類二重目的語動詞が見られる。次の表 III は、松元 (2004: 76) をもとにして、各動詞の出現時期を構文ごとに表したものである。表中、DOC (Double Object Construction) は二重目的語構文、WITH は *with*-前置詞構文、TO は *to*-前置詞構文、FOR は *for*-前置詞構文、ON は *on*-前置詞構文を表わす。また、“×” は当該構文が今日では廃用であることを表し、破線は今日では稀であることを表している。

〈表 III〉初期近代英語に見られる *provide* 類動詞の出現時期

	Pre-1500	1500	1600	1700
arm				
WITH (c1300)	—————>			
			DOC (1609-10)	-----

bestow	ON(1535)	—————>
	DOC(1588)	———×
	WITH(1597)	----->
	TO(1529)	----->
charge	WITH(c1320)	—————>
	DOC(1607)	----->
feed	DOC(c950)	—————>
	WITH(c1000)	—————>
fill	WITH(c1150)	—————>
	DOC(1597-8)	—————>
fit	WITH(1591)	—————×
	DOC(1633)	———×
furnish	WITH(1531)	—————>
	TO(1563)	—————>
	DOC(1596)	—————>
hang	DOC(1598-9)	----->
	WITH(c1385)	—————>
possess	TO(1530)	—————×
	WITH(1549)	—————×
	DOC(1591)	———×
present	WITH(a1300)	—————>
	DOC(c1325)	—————>
	TO(13xx)	—————>
provide	WITH(14xx)	—————>
	DOC(1530)	—————>
	TO(?a1425)	—————>
	FOR(c1500)	—————>

表Ⅲを全体的に見ると、*feed*を除く全ての動詞が、*supply*と同じように、二重目的語構文よりも先に各種前置詞構文に現れている。即ち、歴史的に見ると、*provide*類二重目的語動詞は二重目的語構文よりも前置詞構文を本来の基本形とし、後になって、二重目的語構文にも現れるようになったと言える（構文ごとの各動詞の出現数に関しては松元（2004）を参照）。これに対して、*give*, *buy*などの典型的な授与動詞は、OE期に二重目的語構文に現れたのち、初期ME以降、格屈折の消失に伴って *to*-前置詞構文や *for*-前置詞構文にも現れるようになる

(Mustanoja (1960: 95ff), Fischer (1992: 379-80) 参照)。つまり、*feed* を除けば、*provide* 類二重目的語動詞は、*give*, *buy* などの二重目的語動詞とは逆の発達過程を辿っている。また、初期近代英語に見られる *provide* 類動詞の二重目的語構文は、*to*-前置詞構文や *for*-前置詞構文と交替することもあるが、全てが *with*-前置詞構文と交替する。これに対して、*give*, *buy* などの授与動詞は *to*-前置詞構文や *for*-前置詞構文としか交替しない。³⁾

表Ⅲに示した *provide* 類二重目的語動詞のうち、*supply* は1794年に二重目的語構文に現れるが、すでにOE期には、*supply* と同じような意味を表す *feed* (c950) が、ME期には *present* (c1325) が、EModE期には *furnish* (1596), *provide* (1530) が、二重目的語構文に現れ、それぞれ、*with*-前置詞構文と交替可能である。つまり、初期近代英語までの時期に、*supply* と似た意味を表す *feed*, *present*, *furnish*, *provide* が *with*-前置詞構文と二重目的語構文の間で互いに交替することから、*supply* はこれらの動詞の統語的振るまいを「モデルにして」、おおよそ18世紀末に *with*-前置詞構文から二重目的語構文に拡張したと考えられる。ところが一方で、表Ⅲに示すとおり、近代英語期の *supply* は、二重目的語構文よりも *to*-前置詞構文 (1679-88年) や *for*-前置詞構文 (1711年) に先に現れ、かつ、用例数も二重目的語構文よりも両前置詞構文に多く現れている。つまり、近代英語期には、*give* や *buy* などの動詞が *to*-/ *for*-前置詞構文と二重目的語構文の間で互いに交替することから、*supply* は、これらの動詞の統語的振るまいをモデルにして (*with*-前置詞構文からではなく) *to*-/ *for*-前置詞構文から二重目的語構文へと拡張した可能性もある。松元 (2004) で指摘されている *supply* 以外の *provide* 類二重目的語動詞は、OE期の *feed* やME期の *present* が、*with*-前置詞構文と二重目的語構文の間で交替することをモデルにして拡張したと考えられるのに対し、*supply* は *give* や *buy* などに見られる与格交替をモデルにして *to*-/ *for*-前置詞構文から二重目的語構文に拡張した可能性が示唆される。

Ⅲ

小論では、近代英語 (1500-1900) の英米の170作品を調査して、二重目的語構文に現れる *supply* の発達過程を考察した。まとめると次のようになる。

supply が現れる二重目的語構文、*with*-前置詞構文、*to*-前置詞構文、*for*-前置詞構文を出現数と出現時期の点から分析すると、*supply* は本来 *with*-前置詞構文を基本形としていることがわかる。二重目的語構文は、1794年に見られることから、後期近代英語期 (18世紀末) に *supply* は基本形の *with*-前置詞構文から二重目的語構文へと発達したと考えられる。この発達過程には文法の拡張が関与している。つまり、*supply* は、類似の意味を表す *feed*, *present*, *furnish*, *provide* 等の統語的振るまいをモデルにして、*with*-前置詞構文から二重目的語構文に拡張したと考えられる。他方、*give* や *buy* などの動詞は *to*-/ *for*-前置詞構文と二重目的語構文の間で互いに交替することから、*supply* はこれらの動詞の統語的振るまいをモデルにして (*with*-前置詞構文からではなく) *to*-/ *for*-前置詞構文から二重目的語構文へと拡張した可能性も考えられる。換言すると、この拡張プロセスにおいてモデルになった構文は、元来の基本形である *with*-前置詞構文ではなく、発達の間段階で生じた *to*-/ *for*-前置詞構文の可能性もある。史的統語プロセスは、通常、総合的形式から分析的形へと発達するが、*supply* の場合は、文法的拡張が関与することによって、分析的な前置詞構文から総合的な二重目的語構文へと発達しており、特徴的な変化が窺われる。

註

1) 小西 (1980: 1540) は、*The Random House Dictionary of the English Language (The Unabridged Edition)* [1966] を引用して、動詞 *supply* が二重目的語構文に現れる用法は米語法であると述べている。キルヒナー (1983: 56, 523) も例示しながら米語法であることを示唆している。イギリス系の辞書 OALD (2000⁶), COBUILD (2001³), CLD (2001) や Huddleston and Pullum (2002) には、(i-iii) に示すように、*supply* が現れる前置詞構文は示されているが、二重目的語構文の例は示されていない。特に、COBUILD Usage (1992: 687) は、“I can *supply* you *with* food and drink.” は完全に許容されるが、“I can *supply* you food and drink.” は許容されないと明確に述べている。

i. Foreign governments *supplied* the rebels *with* arms. (OALD⁶ [2000])

ii. Foreign governments *supplied* arms *to* the rebels. (OALD⁶ [2000])

iii. He *supplies* arms *for* the rebels. (Huddleston and Pullum 2002: 314)

2) 松元 (2004) による100作品は、John Fisher, ‘Sermon Sayd in the Cathedrall Chyrche of Saynt Paule within the Cyte of London’ [1509] から William Congreve, *The Way of the World* [1700] である。電子コーパスは、Rutgers University Eighteenth-Century E-Texts: <http://newark.rutgers.edu/~ilynych/18th/etext.html>; University of Virginia Electronic Text Center Collections: <http://etext.lib.virginia.edu/uvaonline.html> に拠る。

3) *provide* 類動詞が現れる二重目的語構文が *with*-前置詞構文と交替するのは、動詞が、通常の授与の意味ではなく、特殊な含意を表すためである (松元 (2004: 77-8) 参照)。

参考文献

1次資料 (170 works)

◆初期近代英語 (1500-1700)

Ascham, Roger. 1904. *English Works of Roger Ascham* ed. by W. A. Wright. Cambridge: Cambridge University Press (repr., 1970). (“Toxophilus” [1545]; “The Scholemaster” [1570]).

Beaumont, Francis and John Fletcher. 1905. *The Works of Francis Beaumont and John Fletcher, Vol. I* ed. by Arnold Glover (Cambridge English Classics). Cambridge: Cambridge University Press. (“The Maids Tragedy” [1619])

Browne, Sir Thomas. 1964. *Religio Medici and Other Works (1643-1716)* ed. by L. C. Martin. Oxford: Clarendon Press. (“Religio Medici” [1643])

Bunyan John. 1904. *The Pilgrim’s Progress Two parts (1678)* ed. by Edmund Venables. London: Oxford University Press.

Chapman, George. 1964. *Bussy D’Ambois (1607-8)* ed. by Nicholas Brooke (The Revels Plays). London: Methuen.

Congreve, William. 1966. *Love for Love (1695)* ed. by Emmett L. Avery. London: Edward Arnold.

Congreve, William. 1953. *The Way of the World (1700)* in *Restoration Plays* with an Introduction by Sir Edmund Gosse (Everyman’s Library 604). London: J. M. Dent & Sons.

Deloney, Thomas. 1961. *The Novels of Thomas Deloney (?1597-98)* ed. by Merritt E. Lawlis. Bloomington: Indiana University Press. (“The Pleasant History of John Winchcomb, in His Younger Years Called Jack of Newbery” [?1597])

- Dekker, Thomas. 1927. *The Shoemaker's Holiday* (1599) ed. by Wilfrid J. Halliday. London: Methuen.
- Dryden John. 1952. *An Essay of Dramatic Poesy* (1668) with notes by William T. Arnold. Oxford: Clarendon Press.
- Dryden, John. 1972. *All for Love* (1677) ed. by David M. Vieth. Lincoln: University of Nebraska Press.
- Elyot, Sir Thomas. 1907. *The Boke Named the Governour* (1531) ed. by Ernest Rhys (Everyman's Library 227). London: J. M. Dent & Co. .
- Etherege, Sir George. 1953. *The Man of Mode, or Sir Fopling Flutter* (1676) in *Restoration Plays* with an Introduction by Sir Edmund Goose (Everyman's Library 604). London: J. M. Dent & Sons.
- Farquhar, George. 1953. *The Beaux-Stratagem* (1707) in *Restoration Plays* with an Introduction by Sir Edmund Goose (Everyman's Library 604). London: J. M. Dent & Sons.
- Fisher John. 1876. *The English Works of John Fisher* (1509-35) first collected by John E. B. Mayor. EETS ES 27. ("Sermon Sayd in the Cathedrall Chyrche of Saynt Paule within the Cyte of London" [1509]; "Sermon Made Agayn the Pernicyous Doctryn of Martin Luuther" [1521])
- Ford, John. 1968. *'Tis Pity She's a Whore* (1633) ed. by Brian Morris. London: Ernest Benn.
- Gascoigne, George. 1970 (1934¹). *Supposes* (1573) in *Five Pre-Shakespearean Comedies* ed. by Frederick S. Boas. London: Oxford University Press.
- Greene, Robert. 1970. *The Scottish History of James the Fourth* (c1591) ed. by Norman Sander (The Revels Plays). London: Methuen.
- Greene, Robert. 1949. *Friar Bacon and Friar Bungay* (1594) in *The Minor Elizabethan Drama, Vol. II* with an Introduction by Ashley Thorndyke (Everyman's Library 492). London: J. M. Dent & Sons.
- Herbert, George. 1941. *The Works of George Herbert* (1617-40) ed. by F. E. Hutchinson. Oxford: Clarendon Press. ("A Priest to the Temple, or the Country Parson" [1652])
- Heywood, John. 1991. *The Plays of John Heywood* (c1525-c1544) ed. by Richard Axton & Peter Happé. Cambridge: D. S. Brewer. ("The Pardoner and the Frere" [1529]; "Johan Johan" [1533]; "The Foure PP" [1544]).
- Heywood, Thomas. 1961. *A Woman Killed with Kindness* (1603) ed. by R. W. Van Fossen (The Revels Plays). London: Methuen.
- Jonson, Ben. 1964 (1953¹). *Volpone or the Fox* (1607) in *Five Plays by Ben Jonson* ed. by Gordon Campbell (The World Classics). London: Oxford University Press.
- Kyd, Thomas 1959. *The Spanish Tragedy* (1592) ed. by Philip Edwards (The Revels Plays). London: Methuen.
- Lyly, John. 1902. *The Complete Works of John Lyly, Vol. I* ed. by R. Warwick Bond. Oxford: Clarendon Press. ("Euphues" [1578])
- Lyly, John. 1949. *Endimion, The Man in the Moone* (1591) in *The Minor Elizabethan Drama, Vol. II* with an Introduction by Ashley Thorndyke (Everyman's Library 492). London: J. M. Dent & Sons.

- Marlowe, Christopher. 1962. *The Tragical History of the Life and Death of Doctor Faustus* (1604) ed. by John D. Jump (The Revels Plays). London: Methuen.
- Massinger, Philip and Nathan Field. 1969. *The Fatal Dowry* (c1632) ed. by T. A. Dunn. Edinburgh: Oliver & Boyd.
- Medwall, Henry. 1970 (1934¹). *Fulgens and Lucrece* (c1515) in *Five Pre-Shakespearean Comedies* ed. by Frederick S. Boas. London: Oxford University Press.
- Middleton, Thomas and William Rowley. 1958. *The Changeling* (1622) ed. by N. W. Bawcutt (The Revels Plays). London: Methuen.
- Milton, John. 1958. *Milton's Prose Writings* (1641-60) with an Introduction by K. M. Burton (Everyman's Library 795). London: J. M. Dent & Sons. ("Areopagitica" [1644]; "The Ready and Easy Way to Establish a Free Commonwealth" [1660])
- Milton, John. 1968. *The Poems of John Milton* ed. by John Carey and Alastair Fowler. London: Longman. ("Paradise Lost" Book V-VIII [1667-69])
- More, Sir Thomas. 1904. *Utopia* (Ralph Robynson's Transl. 1551) ed. by J. C. Collins. Oxford: Clarendon Press.
- Mr S Mr of Art. 1970 (1934¹). *Gammer Gurton's Needle* (1553) in *Five Pre-Shakespearean Comedies* ed. by Frederick S. Boas. London: Oxford University Press.
- Nashe Thomas. 1966. *The Works of Thomas Nashe, Vol. I* ed. by Ronald B. McKerrow. Oxford: Basil Blackwell. ("Pierce Penilesse His Supplication to the Diuelle" [1592])
- Norton, Thomas and Thomas Sackville (Lord Buckhurst). 1951. *The Tragedy of Gorboduc or the Tragedy of Ferrex and Porrex* (1561) in *The Minor Elizabethan Drama, Vol. I* with an Introduction by Ashley Thorndyke (Everyman's Library 491). London: J. M. Dent & Sons.
- Otway, Thomas. 1953. *Venice Preserv'd, or The Plot Discovered* (1682) in *Restoration Plays* with an Introduction by Sir Edmund Gosse (Everyman's Library 604). London: J. M. Dent & Sons.
- Palsgrave John (transl.). 1937. *The Comedy of Acolastus* (1540) ed. by P. L. Caever. EETS OS 202.
- Parker, Henry (transl.). 1943. *Forty-Six Lives from Boccaccio* (1534-47) ed. by Herbert G. Wright. EETS OS 214.
- Peele, George. 1949. *The Old Wives' Tale* (1595) in *The Minor Elizabethan Drama, Vol. II* with an Introduction by Ashley Thorndyke (Everyman's Library 492). London: J. M. Dent & Sons.
- Preston, Thomas. 1951. *Cambyzes, King of Persia* (?1569) in *The Minor Elizabethan Drama, Vol. I* with an Introduction by Ashley Thorndyke (Everyman's Library 491). London: J. M. Dent & Sons.
- Shakespeare, William. 1997. *The Riverside Shakespeare Second Edition* (1589-1613) ed. by G. Blakemore Evans. Boston: Houghton Mifflin.
- Sidney, Sir Philip. 1962. *The Prose Works of Sir Philip Sidney, III* ed. by Albert Feuillerat. Cambridge: Cambridge University Press. ("The Defence of Poesy" [1595])
- Tourneur, Cyril. 1966. *The Revenger's Tragedy* (1607) ed. by R. A. Foakes (The Revels Plays). London: Methuen.
- Tyndale, William (transl.). 1992. *Tyndale's Old Testament* (1530) ed. by David Danielle. New

- Haven: Yale University Press.
- Udall, Nicholas. 1984. *Ralph Roister Doister* (?c1553) in *Four Tudor Comedies* ed. by William Tydeman. Harmondsworth: Penguin Books.
- Vanbrugh, Sir John. 1970. *The Relapse or Virtue in Danger* (1696) ed. by Curt A. Zimansky. London: Edward Arnold.
- Vanbrugh, Sir John. 1953. *The Provoked Wife, A Comedy in Five Acts* (1697) in *Restoration Plays* with an Introduction by Sir Edmund Gosse (Everyman's Library 604). London: J. M. Dent & Sons.
- Vicary, Thomas (transl.). 1888. *The Anatomie of the Bodie of Man* (1548) ed. by Frederick J. Furnivall & Percy Furnivall. EETS ES 53.
- Walton, Izaak. 1962. *The Complete Angler* (1653) with an Introduction by Margaret Bottrall (Everyman's Library 70). London: J. M. Dent & Sons.
- Webster, John. 1964. *The Tragedy of the Duchess of Malfi* (1623) ed. by Russell Brown (The Revels Plays). London: Methuen.
- Wycherley William. 1965. *The Country Wife* (1675) ed. by Thomas H. Fujimura. London: Edward Arnold.

◆後期近代英語 (1700-1900) E-Texts

- Addison & Steele. *The Tatler*. (4 vols.) [1709]
 ————. *The Spectator*. (3 vols.) [1711-14]
- Arnold, Matthew. *Civilisation in the United States*. [1888]
- Austen, Jane. *Letters*. [1796-1817]
 ————. *Sense and Sensibility*. [1811]
 ————. *Pride and Prejudice*. [1813]
 ————. *Mansfield Park*. [1813]
 ————. *Emma*. [1816]
 ————. *Northanger Abbey*. [1818]
 ————. *Persuasion*. [1818]
 ————. *Sanditon*. [18xx; Published in 1925]
- Balzac, Honore de. *Pere Goriot*. [1835]
- Berkeley, *A Treatise Concerning the Principles of Human Knowledge*. [1710]
- Bronte, Charlotte. *Jane Eyre*. [1848]
- Brown, Charles. Brockden. *Wieland; or the Transformation. An American Tale*. [1798]
 ————. *Letter to John Hall, Philadelphia, November 21*. [1806]
- Burney, Frances. *Evelina*. [1778]
- Butler, Samuel. *Erewhon; or, Over the range*. [1901]
- Carrol, Lewis. *Through the Looking-Glass*. [1862-63]
 ————. *Alice's Adventure in Wonderland*. [1866]
- Ceaven, Elizabeth. *The Georgian Princess*. [1799]
- Congreve, William. *Way of the World: a Comedy*. [1700]

- Cooper, James Fenimore. *The Pioneers*. [1823]
 ————. *The Last of the Mohicans*. [1826]
- Defoe, Daniel. *Robinson Crusoe*. [1719]
 ————. *A Journal of Plague Year*. [1722]
 ————. *Moll Flanders*. [1722]
- Dickens, Charles. *A Christmas Carol*. [1843]
 ————. *David Copperfield*. [1850]
 ————. *A Child History of England*. [1852]
 ————. *Great Expectations*. [1860-61]
- Eliot, George. *Silas Marner*. [1861]
- Farquhar, George. *Beaux-Stratagem*. [1707]
- Fielding, Henry. *Tom Jones*. [1749]
- Gaskell, Elizabeth. *Uncle Peter*. [1853]
- Gilman, Arthur. *Women Who Go to College*. [1888]
- Goldsmith, Oliver. *The Vicar of Wakefield*. [1766]
- Hardy, Thomas. *Far from the Madding Crowd*. [1874]
 ————. *Tess of the d'Urbervilles*. [1891]
 ————. *Jude the Obscure*. [1894-95]
- Hawthorne, Nathaniel. *The House of the Seven Gables*. [1851]
- Ibsen, Henrik. *The League of Youth*. [1869]
 ————. *The Wild Duck*. [1884]
- Irving, Washington. *Tales of a Traveller*. [1824]
 ————. *A Tour on the Prairies*. [1835]
- Jewett, Sarah Orne. *From a Mourful Villager*. [1881]
 ————. *In Dark New England Days*. [1890]
- Johnson, Samuel. *A Journey to the Western Isle of Scotland*. [1775]
- Melville, Herman. *Typee; a real romance of the South Seas*. [1846]
 ————. *Moby-Dick, or, The Whale*. [1851]
- Poe, Edgar Allan. *The Black Cat*. [1843]
 ————. *The Spectacles*. [1844]
- Richardson, Samuel. *Pamela*. [1740]
- Scott, Sir Walter. *Ivanhoe*. [1819]
- Sheridan, Richard. *The School for Scandal*. [1780]
- Simms, William Gilmore. *Martin Faber*. [1833]
 ————. *Beauchampe*. [1842]
- Smollett, Tobias. *The Adventure of Roderick Random*. [1748]
- Sterne, Laurence. *The Life and Opinion of Tristram Shandy*. [1760-67]
- Stevenson, Robert L. *An Inland Voyage*. [1878]
 ————. *Treasure Island*. [1883]
 ————. *A Child's Garden of Verses*. [1900]

- Swift, Jonathan. *A Tale of Tub*. [1704]
 ————. *Gulliver's Travels*. [1726]
 ————. *A Modest Proposal for Preventing the Children of Poor People*. [1729]
 Twain, Mark. *Life on the Mississippi*. [1870]
 Thoreau, Henry David. *Walden, or Life in the woods*. [1854]
 ————. *Fear for the Future*. [1859]
 Walpole, Horace. 1764 *The Castle of Oranto*. [1764]
 White, Gilbert. *The Natural History of Selborne*. [1789]

2次資料

- CLD=*Cambridge Learner's Dictionary*. Cambridge: Cambridge University Press, 2001.
 COBUILD=*Collins COBUILD English Dictionary for Advanced Learners*. London & Glasgow, 2001³.
 COBUILD Usage=*Collins COBUILD English Usage*. London: Harper-Collins, 1992.
 Curme, George O. 1931. *A Grammar of the English Language, vol. III. Syntax*. Boston: D. C. Heath and Company.
 Fischer, Olga. 1992. "Syntax", in *The Cambridge History of the English Language, Volume II: 1066-1476*, ed. Norman. Blake (Cambridge: Cambridge University Press), 207-408.
 Huddleston, Rodney and Geoffrey K. Pullum. 2002. *The Cambridge Grammar of the English Language*. Cambridge: Cambridge University Press.
 ISED=*Idiomatic and Syntactic English Dictionary*. Tokyo: Kaitakusha, 1984.
 Jespersen, Otto. 1927. *A Modern English Grammar on Historical Principles, Part III: Syntax. Second Volume*. Heidelberg: Carl Winters.
 Mustanoja, Tauno F. 1960. *A Middle English Syntax. Part I. Parts of Speech*. Helsinki: Société Néophilologique.
 OALD⁶ = *Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English, Sixth Edition*. Oxford: Oxford University Press, 2000.
 OED= *The Oxford English Dictionary*. 13 vols., 1933, 2nd ed., Prepared by J. A. Simpson and E. S. C. Weiner (1989), 20 vols.. Oxford: Clarendon Press.
 OED2= *The Oxford English Dictionary Second Edition CD-Rom (Version 3.0)*. Oxford: Oxford University Press, 2002.
 Poutsma, Hendrik. 1926-28. *A Grammar of Late Modern English. Part II, Section II :The Parts of Speech & Part I, First Half: The Sentence*. Groningen: P. Noordhoff.
 RHD= *Random House Unabridged Dictionary, Second Edition*. New York: Random House, 1993.
 Visser, Frederik Th. 1963-73. *An Historical Syntax of the English Language*. 3 parts in 4 vols. Leiden: E. J. Brill.
 Webster³ = *Webster's Third New International Dictionary*. Springfield. Mass.: G. & C. Merriam Company, 1966, 1976.

キルヒナー, G./前島儀一郎・丹羽義信・佐野英一・山岸勝栄 (訳). 1983. 『アメリカ語法事

典』. 東京: 大修館書店. [Kirchner, Gustav. 1970-72. *Die Syntaktischen Eigentümlichkeiten des Amerikanischen Englisch*. Leipzig: Verlag Enzyklopädie.]

小西友七 (編). 1980. 『英語基本動詞辞典』. 東京: 研究社.

松元浩一. 2004. 「初期近代英語における *provide* 類動詞が現れる二重目的語構文」『長崎大学教育学部紀要 人文科学』69, 67-80.